

## 日本科学者会議第16回総合学術研究集会（東京）

### 3rd Circular

開催日：2006年12月1日（金）～3日（日）

会 場：明治大学・一橋大学

テーマ：諸科学・技術の到達点と国民生活

～平和と生活向上のため科学はいま何を問われているか～

### 日本科学者会議第16回総合学術研究集会 3rd Circular 発行にあたって

全国の会員のみなさん

実行委員会は、テーマ「諸科学・技術の到達点と国民生活～平和と生活向上のため科学はいま何を問われているか～」を設定し、16総学開催とその成功を呼びかけ、みなさんとともに努力をかさねてきました。みなさんの創意ある熱心な取り組みにより多数の応募があり、必要な調整をおこなって、2つの特別報告、33の分科会、1つの総合討論会、5つの市民参加企画の設置が決まりました。分科会の研究発表数だけでも197件、他の講演・報告を合わせ二百数十件を予定する盛況となりました。

日本科学者会議は、わが国の科学・技術の正しい発展および平和・独立・民主主義・人びとの生活向上のために専門別、地方別などのわくをこえて連帯し、さらには科学・技術研究者としての社会的責任を自覚し、広範な人々と連帯し、知の創造と発信に努めてまいりました。本サーキュラーに掲載された研究発表題目と講演・報告等から、誰しもが、その思いと実践とを、さらには広大な領域における高い水準の諸成果は国民大多数が求めているものであることを読みとることでしょう。

東京地裁は9月21日、東京都教育委員会の「日の丸・君が代」強制の通達は違憲・違法だと言い渡し、それが憲法第19条（思想及び良心の自由）及び教育基本法第10条（教育への不当介入の禁止）に反することを指摘しました。思想及び良心の自由は、科学・技術の進歩を平和と国民生活向上に資するための科学・技術研究者の諸活動の根本条件であり、科学的精神の育成と科学・技術の反社会的利用の阻止のための必須条件でもあります。これらのこと、さらには戦後のわが国の学問研究と教育とが平和憲法と教育基本法によって支えられ発展してきたことに深く思いを致し、私たちは本判決を勝ち取るために多くの人々と力を合わせてきました。

5年以内の憲法改定と臨時国会での現行教育基本法の廃止を公言し、米軍再編と日米軍事同盟の地球的規模への拡大を推進する安倍新政権との全面的な対決は私たち科学するものにとっても必至の情勢です。すべての学問領域で戦闘的に真理を探究し不合理をただす理論と実践が求められています。科学・技術研究者としてのその社会的責任を果たすためにも、広範な人々、諸団体との連帯と共闘の輪をいっそう広げながら、国民が求める知の創造と発信のための16総学を成功させましょう。

2006年9月25日 実行委員長 長田好弘

## 1. 開催日程：

月 日	会 場	時 間 帯	内 容	ページ
11月11日 (土)	八王子労政会館	13:30~17:00	映画と対話の夕べⅠ “どぶ川学級”	p 16
11月25日 (土)	一橋大学 国立東キャンパス	15:00~18:00	映画と対話の夕べⅡ “人間の壁”	p 16
12月1日 (金)	明治大学 駿河台キャンパス 11号館 p 3	14:00~ 15:00~ ~17:30	受付開始 全体集会 特別講演 女性交流会	p 2 p 4 p 4 p 18
12月2日 (土)	一橋大学 国立東キャンパス	9:30~12:30 13:30~18:00 18:30~	分科会 分科会 懇親会	p 4~ 15 p 2
12月3日 (日)	p 3	9:30~12:30 13:30~15:00 15:30~16:00	分科会 分科会・総合討論会 閉会集会	p 4 ~ p 15
	いずみホール (西国分寺駅)	18:30 開場 19:30 開会	後夜祭 平和のための コンサート	p 17
	昭和ホテル (立川)	17:00~	16 総学記念囲碁大会	p 18

## 2. 参加費・予稿集代・懇親会費、事前登録・当日受付について：

	種 別	参 加 費	予稿集	懇親会費
会 員	事前登録	3,000 円 (全日)	予 稿 集 代 1,000 円含	3,000 円
	当日支払	3,500 円 (全日)		
院 生 (会 員 & 非 会 員)		1,500 円 (全日)		1,000 円
非 会 員	一般	1,000 円 (1日当たり)	予稿集代	3,000 円
	学生	無料	1,000 円	1,000 円

**事前登録：**①本 3rd サーキュラーに挟んだ郵便振替用紙（事前申込事項を印刷済み、16 総学ホームページに pdf で掲載）に記入して、合計金額を郵便局にて振り込みください。  
②郵便局備付けの郵便振替用紙利用の方は、必要事項（お名前、ご住所、会員・非会員、大学院生、学生、年代、JSA 支部名、予稿集注文有無、懇親会参加有無、合計金額）を記入して、郵便局にて振り込みください。振込手数料がかかります。

口座名：日本科学者会議 16 総学      口座番号：00120-5-614982

※切り：11月20日      \*できるだけ事前登録をお願いいたします。

③①、②の振替用紙の半券を保管して、当日お持ちください。

**会場での受付：**①事前登録の方は、郵便振替用紙半券をお示しください。予稿集を予約された方には、会場受付にてお渡しします。

②当日参加の方は、参加申込書にご記入のうえ参加費等をお支払い下さい。

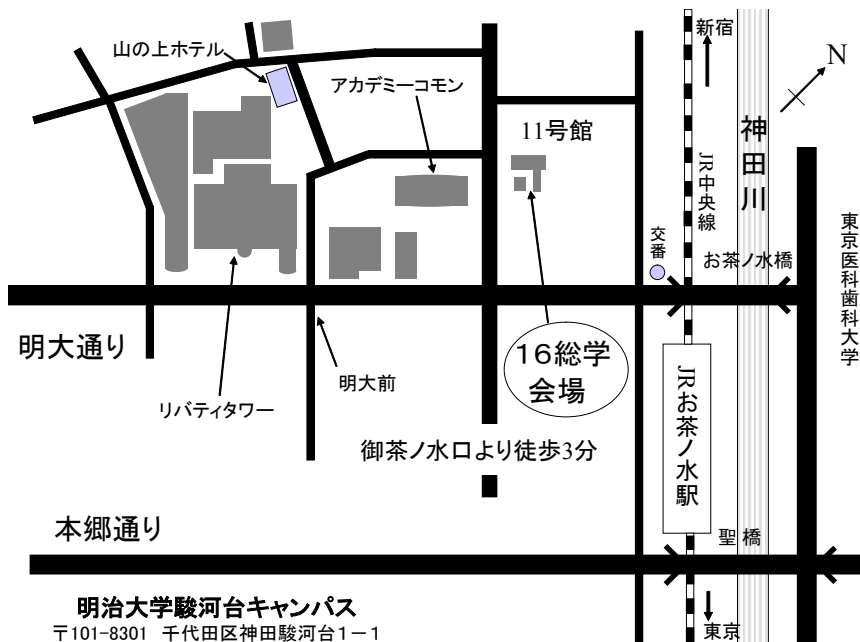
**昼食：**12月2日と3日の昼食は会場外のレストランが少なく混むことが予想されます。各自でお弁当を入手してご持参されるようおすすめします。

**懇親会：**2日 18:30 より東キャンパスのマーキュリータワーで行います。

### 3. 会場へのアクセスと会場案内：

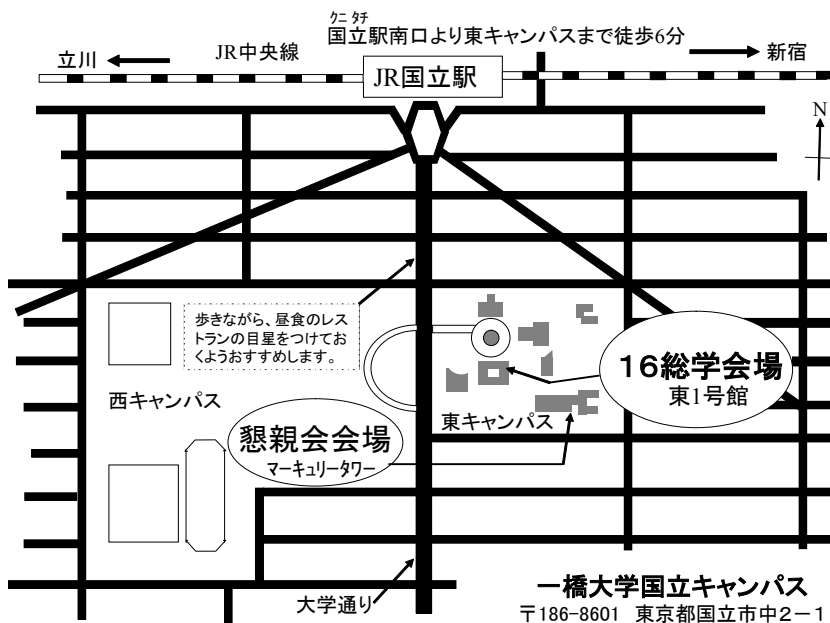
①12月1日（金）の会場：明治大学駿河台キャンパス 11号館

JR 東京駅①②番ホーム（中央線）から“快速”“特快”の電車に乗り、御茶ノ水駅下車、御茶ノ水口より徒歩3分。羽田空港から東京駅経由およそ1時間です。



②12月2日（土）～3日（日）の会場：一橋大学国立キャンパスの東キャンパス

JR 東京駅・新宿駅から中央線（高尾方面）の電車に乗り（“特快”は国分寺駅で“快速”に乗換え）国立駅下車、南口より徒歩6分。東京駅より47分、新宿駅より33分。



#### 4. 全体集会と特別講演： 12月1日 15:00～17:30

全体集会では実行委員長が挨拶し、すぐに特別講演に移ります。講師はお二人です。

講師：塩崎賢明（しおざきよしみつ）氏（神戸大学工学部建築学科教授）

##### テーマ：大規模災害の減災と復興

塩崎氏は阪神大震災など大規模災害の調査・復興に長年取り組んでこられました。ご研究の領域はさらに、住宅政策、参加型のまちづくり、居住環境論、地域環境管理論などと幅広く、地域住民とも協力共同して研究を進めてられています。

講師：堀尾輝久（ほりおてるひさ）氏（東大名誉教授・前日本教育法学会会長）

##### テーマ：憲法と教育基本法

堀尾氏は民主教育に長年取り組んでこられ、日本教育学会と日本教育法学会の会長をそれぞれ2回務められました。先の教育基本法に関する特別委員会（2006年6月7日）で参考人として意見陳述をおこないました。そこでは、教育基本法を作った先人の思いにまで言及し、現日本国憲法および現教育基本法を守ることの重要性とその国際的意義を強調しています。

#### 5. 分科会と論文発表のプログラム： 12月2日、3日

分科会の時間枠は、2日午前・午後、3日午前・午後です。開会・終了時間は分科会によって異なるのでご注意ください。「JSA16総学・分科会開催時間枠」（p20）に全分科会の時間枠を一覧表で示しています。

分科会のテーマ、プログラムは以下の通りです。

##### **【1】憲法九条の過去・現在・未来** 12月3日 9:30～12:30

コーディネーター・座長：浦田一郎（東京支部）

<9:30 開会> 各報告 40分

(1) 河上暁弘（明星大学人文学部非常勤講師）：

成立の〈原点〉から考える憲法九条の平和構想—「戦争非合法化」論と日本国憲法

(2) 小沢隆一（慈恵医科大学教授）：憲法九条改悪論議の歴史と現状

(3) 山口 響（一橋大学社会学研究科院生）：反戦平和運動のなかの憲法九条

<11:30～11:45 休憩>

<11:45～12:30 討論>

##### **【2】憲法・教育基本法と教育実践** 12月2日 13:30～18:00

コーディネーター：岩田好宏（JSA 教育基本法と教育実践研究委員会）・生源寺孝浩（京都橋大学・JSA 教育基本法と教育実践研究委員会） 座長：生源寺孝浩

<13:30～14:10 開会の挨拶と問題提起> 話題提起（40分）と簡単な質疑（10分）

- (1) 渡辺恵津子（埼玉県小学校）：数学教育と教育基本法
- (2) 小倉昭平（京都発達研究会）：子供の発達と発達保障への科学的な観察と提起
- (3) 西浦弘望：社会科教育と教育基本法
- (4) 岩田好宏（子供と自然学会生物教育研究委員会）：

人間学を基礎にした教育の一環としての生物教育

<17:30～17:50 総合討論>

### **【3】日米安保をなくしアジアの平和を展望する 12月2日 9:30～12:30 13:30～18:00**

コーディネーター：阿部一雅（東京支部）・安部恒三・金子勝・亀山統一（沖縄支部）・木村朗（鹿児島支部）・今野 宏（神奈川支部）・澤田昭二（愛知支部）・中川益夫（大阪支部）

セッション1. 米軍基地再編の危険性と矛盾（座長 澤田昭二・木村 朗）

- (1) 加村崇雄・高橋弘之：

佐渡レーダ基地建設と米イージス艦の新潟東港への寄港新潟県での日米軍事同盟の強化

- (2) 亀山統一：日米同盟の変革のもとでの沖縄の基地問題
- (3) 武居 洋：北東アジアに非核地帯を
- (4) 今野 宏：神奈川の基地問題に見る日米関係

セッション2. 日米安保とアメリカの世界戦略の危険な役割

（座長 澤田昭二・亀山統一・今野 宏）

- (5) 木村 朗：

米国の対テロ世界戦争戦略と不安定化する世界秩序ー9・11事件とは何であったのか

- (6) 黒崎 輝：

北東アジアの核拡散問題と日米同盟ー日本の「非核」政策を取り巻く政治力学の考察

- (7) 山崎文徳：日米軍事技術開発の補完的一体化

セッション3. アジアの平和と日本国憲法（座長 中川益夫・阿部一雅）

- (8) 加村崇雄：戦争体験での被害と禍害
- (9) 金子 勝：アジアの平和と日本国憲法

セッション4. 東アジア共同体と日本の針路（座長 金子 勝・阿部一雅）

- (10) 北村 実：東南アジア友好協力条約（TAC）と日本
- (11) 遠藤和生：東アジア20億民衆は平和・繁栄・民衆主権も共同体を願う
- (12) 岩鼻通明（山形支部）：韓国映画にみる南北分断と和解の動向
- (13) 中川益夫：東アジア共同体と日本の進路

### **【4】歴史教科書問題と今日のアジア認識・歴史認識 12月2日 9:30～12:30**

コーディネーター：小嶋茂稔 座長：大日方純夫（早稲田大学）

<9:30～9:40 趣旨説明 小嶋茂稔>

- (1) 峰岸純夫（元中央大学）：高校日本史教科書と家永教科書訴訟
- (2) 小嶋茂稔（東京学芸大学）：『新しい歴史教科書』のアジア認識の問題点
- (3) 山本直美（杉並の教育を考えるみんなの会・ひらかれた歴史教育の会）：  
杉並区における教科書採択問題を通じて見えてくること（仮題）
- (4) 笠原十九司（都留文科大学）：東アジアにおける歴史認識の共有への試み

<11:40～11:50 休憩>

<11:50～12:30 総合討論>

## **【5】護憲派のための軍事入門・研究**

12月3日 9:30～12:00 13:00～14:40

コーディネーター：山田 朗（明治大学）

<9:30 開会> 各報告 30分、質疑 10分

(1) 浦崎黎明・伊藤 隆・宮川清三郎・中野貞彦（東京支部武蔵野分会）：

米軍再編とミサイル防衛システムの諸側面を考える

(2) 山田 朗：自衛隊の現在—自衛隊戦力の2重の歪み—

<10:50～11:20 前半総括討論>

(3) 齊藤 勉（多摩地域の戦時下資料研究会）：日本本土空襲開始時における米軍の航空写真による情報収集について—東京多摩地域を中心に—

<12:00～13:00 昼食休憩>

(4) 牛田守彦（武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）：米軍資料ならびに空中写真分析による空襲被害研究の意義について—中島飛行機武蔵製作所と武蔵野地域の空襲被害を事例に

(5) 上野勝也（調布飛行場の掩体壕を保存する会）：

戦争遺跡の保存運動 “調布飛行場の掩体壕の保存”

<14:20～14:40 後半総括討論>

## **【6】原子力空母の横須賀母港化に関連する諸問題**

12月3日 9:30～12:30

コーディネーター・座長：野口邦和（日本大学） 各報告 30分、総合討論 60分

(1) 中嶋篤之助（元中央大学）：

米原子力空母の横須賀母港化について—目にあまる不透明性と説明責任の欠如—

(2) 青柳長紀（元日本原子力研究所）：原子力空母の安全と原子力防災の問題点

(3) 野口邦和（日本大学）：原子力空母の原子炉事故災害評価の不確かさについて

(4) 沢田昭二（元名古屋大学）：

広島・長崎の被爆者の生涯から推定される内部被曝の深刻さと原子炉の安全性

## **【7】気候変動にたちむかう科学と政策**

12月3日 9:00～12:30

コーディネーター：岩本智之（大阪支部）

(1) 田中雄三(元龍谷大学)：気候変動にたちむかう科学と政策

(2) 歌川学(産総研)：各国の気候中長期計画について

(3) 高村ゆかり(龍谷大)：2013年以降の国際的温暖化政策をめぐる国際交渉の到達点

(4) 岩佐 茂(一橋大学)：地球温暖化問題への思想的・社会科学的視点

(5) 増田善信(元気象研)：地球温暖化と異常気象

(6) 林弘文(元静岡大)：地球の温暖化のメカニズムと台風、ハリケーンの強大化

(7) 岩本智之(JSA 大阪支部)：「反温暖化」論を斬る

(8) 早川光俊(CASA 専務理事)：気候変動問題に対処する科学者、市民、NGO の課題

<総合討論>

## **【8】世界と日本のエネルギー問題**

12月2日 9:30～12:30 13:30～16:00

コーディネーター：館野 淳（中央大学）・本島 勲

<9:30 開会>

<総論・問題提起>

(1) 本島 勲：世界と日本のエネルギー問題

<エネルギーの消費問題 —エネルギーの無駄遣いと節約—>

- (2) 舘野 淳：エネルギー利用と経済成長
- (3) 藤井 哲：燃料とエネルギーの節約
- (4) 児玉一八：交通分野でのエネルギー消費の削減と公共交通への転換に向けた課題  
＜わが国のエネルギー戦略＞
- (5) 青柳長紀：新国家エネルギー戦略と原子力発電の諸問題
- (6) 本島 勳：九電力体制と電力の自由化
- ＜12:30～13:30 昼食休憩＞
- ＜わが国固有のエネルギー –技術開発の現状と課題–＞
- (7) 本島 勳：小水力発電の現状と課題、開発体制
- (8) 増田善信：小型水力発電など自然エネルギーの利用
- (9) 本庄孝子：バイオマスの現状と課題
- ＜15:00～16:00 総合討論＞

### **【9】改憲論と環境権** 12月2日 9:30～12:30

- コーディネーター：近藤 真・北山雅昭
- ＜9:30～9:35 司会：北山雅昭 挨拶＞ (1)(3)～(7)：各 15 分、(2)：30 分
- (1) 近藤 真(岐阜大学)：総論:改憲論と環境権
  - (2) 北山雅昭(早稲田大学)：各論:自民党、民主党、NPO の環境権改憲論
  - (3) 神戸秀彦(新潟大学)：環境判例と環境権
  - (4) 神戸秀彦(新潟大学)：ボン基本法・州憲法と環境権
  - (5) 近藤 真(岐阜大学)：ニュージーランド憲法と環境権
  - (6) 及川敬貴(横浜国立大学)：アメリカ合衆国州憲法と環境権
  - (7) 及川敬貴(横浜国立大学)：環境基本法改正の課題
- ＜11:35～12:30 討論＞

### **【10】廃棄物・土壌汚染** 12月3日 9:30～12:30

- コーディネーター：畑 明郎・佐藤克春
- ＜9:30～9:35 開会挨拶 座長：畑 明郎＞
- (1) 粟生田忠雄(新潟大学)：水稻のカドミウム汚染対策としての施肥・水管理
  - (2) 安田圭奈江：大阪アメニティパークにおける土壌・地下水汚染問題
  - (3) 佐藤克春(一橋大学大学院・大学院生)：東京都心部における土壌汚染対策の現状
  - (4) 松井英介(岐阜環境医学研究所)：岐阜市椿洞産廃不法投棄事件
  - (5) 畑 明郎(大阪市立大学大学院)：中国の土壌汚染
  - (6) 坂巻幸雄(元地質調査所)・石川孝織(釧路市立博物館)：  
産廃特措法の最近の適用方針とその問題点
- ＜12:05～12:30 総合討論＞

### **【11】災害から暮らしを守るには** 12月2日 9:30～12:10 13:30～18:00

- コーディネーター：災害問題研究委員会＝大屋鍾吾・中山俊雄・川合将文・坂巻幸雄
- ＜9:30～9:40 分科会の開催に当たって 中山俊雄(災害委委員長)＞ 各 30 分
- 第1部 現代防災の課題と検証 座長：川合将文
- (1) 大屋鍾吾(災害委)：社会の現実から災害問題を見る
  - (2) 災害問題研究委員会：国の危機管理戦略と地域防災

- (3) 立石雅昭（新潟大）：地震と原子力発電所に関わる最近の動向
  - (4) 藤井陽一郎（災害委）：安全性の技術論
  - (5) 上野鉄男（災害委）：山地河川の水害の発生構造－余笹川流域の1998年水害について
- <12:10～13:30 昼休み休憩>

第2部 防災―各地の取り組みに寄せて 座長：藤井陽一郎

- (6) 坂巻幸雄・永田勝美（災害委・全国災対連）：  
2005年宮崎県下水害の特徴と地域復興の課題
- (7) 北村 眞（全国災対連）：災対連運動の到達点と将来展望
- (8) 千代崎一夫・山下千佳（住まいと環境改善ネットワーク）：  
ビジュアル資料を活用した防災学習活動

<15:00～15:20 休憩>

- (9) 中山俊雄・川合将文（災害委）：「平成X年大地震」における東京の震度分布
- (10) 木下紀正・飯野直子・金柿主税（鹿児島大）：三宅島噴火災害と火山ガス動態研究
- (11) 寺本恒夫・伊藤潤一・坂巻幸雄（東京災対連・災害委）：  
三宅島の復興と「高濃度地区」問題

<16:50～18:00 総合討論とまとめ 司会：中山俊雄>

## **【12】公共事業のあり方を考える** 12月2日 13:30～18:00

コーディネーター：橋本良仁（東京支部）

- (1) 板井 勝（川辺川利水訴訟弁護団）：川辺川ダム問題の現状と課題
- (2) 堀 良一（よみがえれ！有明訴訟弁護団）：  
よみがえれ！有明海訴訟の現状と有明海の再生
- (3) 吉山 寛（高尾山天狗裁判原告団）：高尾山にトンネルを掘らせない
- (4) 牛野くみ子・大浜清（千葉の干潟を守る会）：  
「公共事業」は死なず、ただ化けるのみ 臨海開発から「再生」事業へー東京湾三番瀬の場合
- (5) 嶋津暉之（ハッ場ダムをストップさせる市民連合会）：ハッ場ダムがもたらしたもの
- (6) 宮城支部公共事業グループ：  
住民参加と住民合意 PI（パブリックインボルブメント）の実像
- (7) 亀山統一：沖縄県における大規模公共事業の特徴と問題点
- (8) 標 博重：道路政策と道路行政の国民的変革をめざして

## **【13】グローバリゼーションとアメリカ経済・社会の今** 12月2日 9:30～12:30

コーディネーター：増田正人（東京支部、法政大学）・本田浩邦（獨協大学）

<9:30～9:35 開会 座長（司会）：藤本共一（茨城大学）> 各報告30分、質疑10分

- (1) 増田正人：グローバリゼーションとアメリカ
- (2) 本田浩邦：アメリカの所得格差と貧困
- (3) 南雲和夫：アメリカ社会とブッシュ戦略の現在

<11:35～11:45 休憩>

<11:45～12:30 全体の討論>

## **【14】地域中小企業の持続的発展の課題** 12月2日 13:30～17:30

コーディネーター・座長：八幡一秀（中央大学 教授）

<1:30~1:40 八幡一秀：分科会趣旨説明> 各 45 分

(1) 芳賀 寛 (中央大学 教授)：地域中小企業研究と統計制度改革

(2) 齊藤 正 (駒澤大学 教授)：持続可能な成長のための地域・中小企業金融のあり方

<3:10~3:20 休憩>

(3) 吉田敬一 (駒澤大学 教授) グローバル化の下での持続可能な地域経済づくり

<4:05~5:20 質疑応答とフロアーとの討論>

<5:20~5:30 まとめと閉会>

## **【15】食と農の政策科学**

12月2日 9:30~12:30 13:30~18:00

コーディネーター：宮村光重 (食糧問題研究委員会委員長・日本女子大学名誉教授)

<9:30~9:40 趣旨説明 宮村光重>

(1) 宮村光重：食・農分科会の開会に当たって一発表報告の編成と留意点について一

第1セッション：国民の健康と日本の食 <9:40~12:30>

(2) 座長総括的提起 木谷 実 (栄養学者)：国民の健康と日本の「食」

(3) 蓮尾隆子 (家庭栄養研究会副会長)：国民の健康状態と食の係わり

(4) 小川貴志子 (保健学博士)：日本の子どもの運動と免疫

(5) 松本慎一 (埼玉県農民運動連合会事務局長・農民連関東ブロック協議会事務局長)  
：地産地消による学校給食

(6) 西村一郎 (財)生協総合研究所研究員)：生協の食育活動と食育基本法

(7) 坂口正明 (全国食健連事務局長)：食健連の運動展開と科学者への期待

<12:30~13:30 昼食休憩>

第2セッション：食糧の自給と日本の農業 <13:30~16:20>

(8) 座長の総括的提起 熊沢喜久雄 (東京大学名誉教授)：食糧の自給と日本の農業

(9) 江尻 彰 (関西大学非常勤講師)：アグリビジネスの食糧戦略

(10) 平田 豊 (東京農工大学大学院)・大澤 良 (筑波大学大学院)：  
遺伝子組み換えの技術と最近の議論のあり方について

(11) 冬木勝仁 (東北大学大学院農学研究科)：農業担い手政策と食料自給率

(12) 早川 治 (日本大学生物資源科学部)：耕畜連携と飼料自給率

(13) 佐々木陽悦 (JAみどりの理事・全国環境保全型農業推進会議委員)：  
お米と田んぼの価値を考えるー生きもの調査と環境保全型農業ー

<16:20~16:30 休憩>

第3セッション：コメント・総合討論 (座長：木谷、熊沢、宮村) <16:30~18:00>

## **【16】検証「IT新改革戦略」ー社会進歩と人々の幸福感に寄与できるか**

12月3日 9:30~12:20 13:20~15:00

コーディネーター：長田好弘・松永光司

<9:30 開会 座長：長田好弘・松永光司>

<9:30~9:40 長田好弘：分科会設置趣旨説明>

(1) 長田好弘 (東京支部)：

情報技術の進歩を社会進歩と人々の幸福追求にどう役立てるか (課題提起)

(2) 矢作英夫・酒井士朗 (東京支部武蔵野分会)：

情報通信ネットワークと災害ー中越地震から何を学ぶべきかー

(3) 酒井士朗・矢作英夫（東京支部武蔵野分会）：

大規模情報処理システムの事故・安全性について

<10:55～11:05 休憩>

(4) 石綿 勇・矢作英夫（東京支部武蔵野分会）：ICTを支えるエネルギーの問題

(5) 藺部英夫（全国障害者問題研究会）：障害者とITの希望と実情ーこの10年から

(6) 長島芳昭（東京自治労連電子自治体対策委員会事務局長）：

住民の生活と権利を守るIT政策をもとめて（問題提起）

<12:20～13:20 昼食休憩>

(7) 山下唯志：「IT新改革戦略」の分析ー政府IT予算の分析を通じて

(8) 下間一成・酒井士朗（東京支部武蔵野分会）：個人情報保護法と国民生活

(9) 小林真彦：公共政策学から見た心脳問題の現状と課題

(10) 荒井成彦（東京支部）：文明のウィルス化

<15:00 終了>

### **【17】 検証「知的財産立国」** 12月2日 13:30～18:00

コーディネーター・座長：野村康秀（東京支部特許庁分会）

<13:30 開会 >

(1) 野村康秀：知的財産立国路線と日本の科学技術・産業技術政策

(2) 斉藤安史（元群馬大学）：国立大学法人化と知的財産戦略

(3) 大山 光：職務発明の対価をめぐる動向

<15:20～15:30 休憩>

(4) 増澤誠一・柴沼雅樹（東京支部特許庁分会）：

知的財産立国路線の到達点と矛盾ー国際的課題を含めて

(5) 有巢 昇（民間懇）：知的財産立国の意義と限界（文化論的問題指摘を含めて）

<17:00～18:00 全体討論>

### **【18】 第3期科学技術基本計画をめぐる** 12月2日 9:30～12:30

コーディネーター：稲生 勝

<9:30 開会 > 各発表 30分

(1) 稲生 勝（岐阜大学）：第3期科学技術基本計画の批判的検討（仮題）

(2) 松井安俊（東京支部）：第1期、第2期科学技術基本計画を振り返る（仮題）

(3) 明石博行（駒澤大学）：新保守主義体制のもとでの第3期科学技術基本計画（仮題）

(4) 兵藤友博（立命館大学）：第3期科学技術基本計画における「人材養成」論（仮題）

(5) 小長谷大介：科学技術政策は現場にどう影響しているかー物理を例に（仮題）

<12:00～12:30 総合討論>

### **【19】 21世紀の科学・技術は如何に在るべきか** 12月2日 13:30～18:00

コーディネーター・座長：榊原道夫（東京支部・東海大学名誉教授）・藤田秀雄（東京支部・立正大学名誉教授）

<13:30 開会>

(1) 榊原道夫：総括的課題提起

(2) 上野 哲（広島支部・日本学術振興会特別研究員）：科学技術をめぐる専門家と市民の分離を打開するための一試論～広島市科学技術市民カウンセラー制度の実験を手がかりに～

- (3) 伊藤 隆 (東京支部武蔵野分会) :  
 科学者・技術者は闘士たれー没後60年のポール・ランジュバンを回顧してー  
 <15:10~15:20 休憩>
- (4) 松永光司 (東京支部武蔵野分会) :  
 日本学術会議声明「日本の科学技術政策の要諦」の問題点と背景
- (5) 藤田秀雄: 科学者の倫理と教育の役割  
 <16:40~17:40 総合討論>

**【20】 21世紀の大学像と私立大学の現状と改革** 12月2日 9:30~12:30

- コーディネーター: 五十子満大 (東京支部・元東京都立大学) ・一井 昭 (東京支部・中央大学)  
 <開会 9:30 座長: 五十子満大> 各35分 (4)は10分
- (1) 一井 昭 (東京支部・中央大学) : 21世紀の大学像と私立大学
- (2) 黒滝正昭 (宮城学院女子大学) :  
 中教審答申「我が国の高等教育の将来像」(2005.1.28)の意義
- (3) 五十嵐 仁 (法政大学大原社会問題研究所副所長) :  
 法政大学の改革の動きと研究所の再編問題
- (4) 三輪定宣: 21世紀の大学像と政策提言 (文書発言)
- <11:35~11:45 休憩>  
 <11:45~12:30 討論 座長: 一井昭>

**【21】 大学・研究機関の法人化と労組を含む各種団体の役割** 12月2日 13:00~18:00

- コーディネーター・座長: 鈴木憲太郎 (茨城支部) ・大西 広 (京都支部)
- <13:00~13:10 趣旨説明 (鈴木憲太郎)> 各30分
- (1) JSA 国公立研究機関問題委員会: 旧国立研究機関の独法化から見えること
- (2) 大西 広 (京都支部): 国公立大学法人化の下での労働組合の役割について
- (3) 茨城支部: 旧国立研究機関独法第1期中期目標見直しと労使関係
- (4) 茨城支部: 産業技術総合研究所における法人化の問題
- <15:10~15:20 休憩>
- (5) 上野鉄男 (京都支部): 京大の最近の変化とわれわれの役割
- (6) 藤本光一郎 (東京支部): 教員養成系大学での法人化の問題
- (7) 宮原恒昱 (東京支部): 首都大学の現状と労働組合の役割
- <16:50~17:00 休憩>  
 <17:00~18:00 総合討論 (司会: 大西広)>

**【22】 研究者・技術者の権利問題分科会** 12月2日 13:30~18:00

- コーディネーター: 秋山昌文・小野塚春吉・菊池重秋 座長: 秋山昌文・小野塚春吉  
 <13:30~13:35 趣旨説明等 (座長から)> 報告(1)~(6): 30分、(7):40分
- (1) 首都大学関係者: 大学法人化後における首都大学の現状と問題点 (仮題)
- (2) 菊池重秋 (東京支部、非常勤講師) :  
 大学非常勤講師の研究者としての権利—アンケート調査に見る実態と要求—

(3) 石渡真理子 (JSA 女性研究者技術者委員会委員長、同科学者の権利問題委員会委員) : 女性研究者・技術者の現状とその打開にむけて—『権利宣言、倫理綱領』をどう活用するか—  
<15:05~15:20 休憩>

(4) 竹森 信 (茨城支部) : 最近のいくつかの「行動規範」「倫理綱領」について—科学・技術の悪用・乱用防止の実効ある規範となりうるか?—

(5) 東京支部武蔵野分会 :

研究者・技術者の心意気を励まし、連帯が進むような「権利・地位宣言」・「倫理綱領」を

(6) 近藤 真 (岐阜大学) :

「研究者の権利・地位宣言／倫理綱領」について憲法学の視点からの考察 (仮題)

(7) JSA 科学者の権利問題委員会 : 「研究者の権利・地位宣言／倫理綱領」(案)の会内外討議の中で出されている「意見」などに対する JSA 科学者の権利問題委員会からのコメント(仮題)  
<17:30~18:00 総合討論>

### **[23] 民間企業技術者・研究者の現状**

12月3日 9:30~12:30

コーディネーター・座長 : 石垣一期、秋村理

<9:30 開会> 各 20 分発表 10 分討論

(1) 川井 安・林慎司・酒井士朗 (東京支部武蔵野分会) : NTT 研究所における成果主義賃金・裁量労働制の実態と研究者の要求

(2) 丹生淳郷 (埼玉支部) : 民間技術者・研究者の役割と権利・地位、倫理問題

(3) 石垣一期 (神奈川支部) : 『技術者倫理』におけるマネジメントシステム

<11:00~11:15 休憩>

(4) 秋村 理 (神奈川支部) : 楽しく仕事をするためのすすめ

(5) 課題提起 長田好弘 (民間企業技術者研究者問題委員会委員長) : 民間企業の研究者・技術者の地位向上のために~これからの活動の方向を探る~ (仮題)

<12:15~12:30 総合討論>

### **[24] 女性研究者の今を考える—真の男女共同参画をめざして** 12月2日 9:30~13:00

コーディネーター : 石渡真理子 (女性研究者技術者委員会、東京支部女性会員連絡会)

<9:30~9:40 開会挨拶と分科会趣旨説明 (石渡真理子)>

<9:40~10:40 事例報告 司会:河野貴美子>

(1) 杉田真衣 (東京都立大学大学院人文科学研究科教育学専攻 博士課程) :  
女性の大学院生として思うこと

(2) 石井さなえ (名古屋大学大学院医学系研究科老年科学 ポストドクター) :  
神経科学の分野における若手女性研究者として思うこと

(3) 榎 牧子 (東京海洋大学 助手) : ポストドク、助手を経験して思うこと

(4) 石井佐保子 (大学病院 看護師) : 「看護師」という仕事と育児

<10:40~10:45 休憩>

<10:45~11:45 招待講演—真の男女共同参画実現のために— 司会 : 池上幸江>

(5) 中嶋みさき (大東文化大学非常勤講師 民主教育研究所「ジェンダーと教育」研究委員会) : ジェンダー・バッシングの意図はどこに~憲法・教育基本法「改正」と男女平等教育~

(6) 大坪久子 (東京大学・分子細胞生物学研究所講師 男女共同参画学協会連絡会第4期副委員長) : 男女共同参画学協会連絡会の活動とこれから

<11:45~13:00 総合討論とまとめ 司会 : 石渡真理子>

## **【25】延命治療について考える—人工呼吸器の取り外しは許されるか**

12月3日 13:00~15:00

コーディネーター：黒須三恵(生命倫理研究委員会) 座長：尾崎恭一(埼玉学園大学人間学部)

<13:00 開会>

- (1) 高石光雄(埼玉協同病院・院長)：生命倫理に関する一般地域住民の意識と当院における取り組みを通じて病院管理者として思うこと
- (2) 城戸良弘(生命倫理研究委員会)・師岡友紀(大阪大学保健学)・宮田雅子(京都大学保健学)：延命治療の中止—医療側からみた日本の現状と問題点に関する文献的検討
- (3) 古川原明子(明治学院大学法科大学院)：刑法における尊厳死・安楽死論の意義を考える
- (4) 黒須三恵(生命倫理研究委員会)：  
延命治療に関する議論から倫理的・人間的行為とは何かを考える

<14:30~14:55 討論>

<14:55~15:00 閉会の辞>

## **【26】薬とビジネス—薬が病気を作る！？**

12月3日 10:00~12:30

コーディネーター：牧野忠康(医療と薬害問題研究委員会・日本福祉大学社会福祉学部保健福祉学科) 座長：片平洸彦(医療と薬害問題研究委員会・東洋大学社会学部社会福祉学科)

<10:00 開会>

- (1) 儀我壮一郎：薬による健康破壊の歴史的諸側面—戦争と製薬企業との関係—
- (2) 黒須三恵・他4名：臨床試験における利益相反について
- (3) 牧野忠康・他4名：構造的薬害と政官財癒着の社会構造
- (4) 牟田 静・他4名(大田病院)：消費者向け直接広告(DTCA)の問題点
- (5) 藤竿伊知郎・他4名(協同組合 医療と福祉)：  
薬害肝炎、すべての被害者を救済するために必要な政策

## **【27】現代日本社会の病理**

12月2日 9:30~12:30

コーディネーター：北村 実

- (1) 確井敏正：格差社会化を社会の持続可能性の観点から考える
- (2) 岩間一雄：多発する犯罪と現代日本の病理
- (3) 北村 実：少年凶悪犯罪はなぜ起きるか
- (4) 川原ゆかり：<家族>というレトリック
- (5) 北村 浩：現代の病理と個人
- (6) 島崎 隆：「心理主義」の流行と心理療法をめぐる問題

## **【28】外来生物と生物多様性—グローバル化がもたらす新しい問題**

12月3日 9:30~12:30

コーディネーター：広木詔三(名古屋大学)・南 有哲(三重短期大学)

<9:30~9:40 趣旨説明 広木詔三> 各25分発表

- (1) 金田正人：アライグマの野生化の現状
- (2) 横畑泰志(富山大学理学部生物圏環境科学科生物圏機能学講座 野生動物保全学研究室)：  
哺乳類における外来種問題—特に離島の野生化ヤギ問題について

(3) 矢部 隆：アカミミガメ、カミツキガメ、クサガメ等の外来カメ類が引き起こす諸問題

(4) 南 有哲（三重短期大学）：

外来種駆除論の正当性をめぐって—ブラックバスをめぐる議論を素材として

(5) 神山智美：外来生物問題を考える—予防原則の視点から

<12:00～12:30 総合討論>

会場発言(村林)：各務ヶ原のオオキンケイギクについて

### **【29】格差社会と現代日本の貧困を考える** 12月2日 13:30～16:30

コーディネーター・座長：鷺谷 徹(中央大学) 各報告 45分

(1) 唐鎌直義(専修大学)：日本における生活格差の拡大とその要因

(2) 生活と健康を守る会：生活保護と現代日本の貧困(仮題)

<休憩>

(3) 宮本 悟(中央大学)：フランスにおける貧困問題の一断面(仮題)

<討論>

### **【30】石原都政の8年間を検証する—政治、行財政手法を中心に** 12月2日 13:30～16:30

コーディネーター・座長：米田貢（中央大学） 各報告 45分

(1) 武居秀樹（都留文科大学）：石原都政の歴史的 position とその戦略

(2) 関野満夫(中央大学)：石原都政下の東京都財政

<休憩>

(3) 新建東京支部東京問題研究会：都市再生とまちづくり

<討論>

### **【31】重大事故を防ぐ** 12月3日 9:30～12:30

コーディネーター：在田正義・山川賢次

座長：大松重雄（海上技術安全研究所） 各報告 30分、討論 60分

(1) 安藤 陽（埼玉大学経済学部）：鉄道事故と企業の社会的責任

(2) 寺田博之（国際航空疲労委員会（ICAF）日本代表）：

航空機事故から学ぶべきこと ～日航機事故などの教訓～

(3) 在田正義（(有)RITA コンサルティング代表）：海難事故調査について

### **【32】小泉改革、その地域における現実と科学者の役割**

12月2日 9:30～12:30 13:30～18:00

コーディネーター：飯田克平（日本海委員会責任者、石川支部）

<9:30～10:30 開会 分科会への課題提起 司会、飯田克平>

(1) 保母武彦（元島根大学）：小泉改革後の地域格差・地域問題と科学者の課題

<10:30～12:00 離島問題・地域問題 司会、富樫幸一>

(2) 磯部 作（日本福祉大学社会福祉学部）：内海の島の状況と課題

(3) 寺西豊秀（富山大学医学部）・林 節男（富山県立大学短期大学部）：

屋久島について—自然とくらし—

(4) 佐々木秀昭(佐渡自治体研究所)・立石雅昭(新潟大学理学部)：合併後の佐渡市の動き

<12:00～12:30 13:30～14:25 環境とくらし 司会、飯田克平>

<12:30～13:30 昼食休憩>

- (5) 森 透 (福井大学教育地域科学部)・笹本智恵子 (NPO 法人ウエットランド中池見) :  
福井県敦賀市中池見湿地保全の現状と課題
- (6) 横山壽一 (金沢大学経済学部) : 過疎・高齢化地域の医療と介護問題—奥能登を例として
- (7) 刈田啓史郎 (宮城支部高齢社会問題研究会) : 高齢者の居住不安—終の棲家がない—  
<14:25~15:50 地方の行財政 司会、横山壽一>
- (8) 立石芳夫 (三重短期大学) : 三重県内の市町村合併—その経過、特徴、課題
- (9) 富樫幸一 (岐阜大・地域科学部) : 高山都市圏における中心と縁辺の構造
- (10) 荒木田 岳 (福島大学) : 地方交付税の配分に見る自治体の格差拡大と市町村合併  
<15:50~16:00 休憩>
- <16:00~16:30 地域問題と大学・科学者 司会、飯田克平>
- (11) 吉田 浩 (徳島大学総合科学部) : 地方大学における地域活性への参画のあり方と課題  
<16:30~17:50 総合討論 司会、飯田克平他>

### **[33] 自治体の企業誘致・産業政策分科会** 12月3日 9:30~12:30

コーディネーター: 小畑 一 (かながわ総合科学研究所常任理事、企業誘致・産業政策研究会  
主査) 連絡責任者: 梶田義熙 (かながわ総合科学研究所)

- (1) 小畑 一 (かながわ総研) : 神奈川県企業の誘致促進策—神奈川インベスト批判—
- (2) 居城 琢 (横浜国大非常勤講師) :  
産業連関から見た神奈川の産業構造と神奈川インベストの波及効果の検討
- (3) 藤田 実 (桜美林大学経済学部) :  
神奈川の電機産業の構造変化と位置・展望、電機労働者の状態

## **6. 研究者の権利・地位宣言／倫理綱領 (案) についての総合討論会 :**

12月3日 13:30~15:00

コーディネーター: 岩本智之・浜林正夫・小野塚春吉 連絡責任者: 岩本智之

座長: 岩本智之・湯浅精二

設置趣旨とお願い: この総合討論会は、2007年5月のJSA 定期大会で採択を目指している「研究者の権利・地位宣言／倫理綱領」について、自由かつ総合的に討論する場を設け、合意形成の促進を図るとともに、出された意見を大会に提案する「案」作成に反映させる目的で設定しました。また、現在「案」(第4次案)を分会・支部・地区等で討議を進めてもらっていますが、これらの討議で出されている意見なども紹介いただきたいと思います。当日はフロアーからも自由に発言いただけますが、発言時間を保障するため、なるべく事前に発言登録(登録先: JSA 全国事務局)をするようお願いします。

『日本の科学者』の9月号(Vol.41, No.9)に、関連する論文とともに「案」(第4次案)が掲載されています。参考にしてください。

<13:30~13:35>・趣旨説明: 座長

・討議にあたって若干のコメント: 浜林正夫 (JSA 科学者の権利問題委員会委員長)

<13:35~14:45>

・分会・支部等における討議状況の紹介: 各分会・支部から(各5分程度)

・参加者による自由発言・自由討議

<14:50~15:00 まとめの発言: 座長>

## 7. 市民参加の諸企画：

【1】映画と対話の夕べ：現在、日本の教育は大きな岐路に立たされています。子供たちを取り巻く教育現場には、不登校やいじめ問題、落ちこぼれや学力低下問題、教育における格差問題など、さまざまな問題が深刻化する中で、ゆとり教育の見直し、学校選択制の導入や中高一貫の公立校新設、小学校への英語教育の導入など、さまざまな制度改革が急速にすすめられています。本来、教職員が創意工夫をしながら協力をし合うことで、これらの問題に対処することができるはずですが、現実には、教育現場への管理と統制が強まり、教職員は孤立させられてきています。教育基本法の改正問題、都教育委員会による日の丸。君が代の強制と度重なる教職員への処分など、日本の教育を取り巻く現状は、きわめて深刻な状況になっています。日本の教育に関する問題は、16総学の複数の分科会で取り上げられます。それらに関連する市民参加のプレ企画として「映画と対話の夕べ」を2回にわたって行います。

＜第一回企画 「どぶ川学級」の世界＞ 11月11日（土）13:30～17:00 開場 13:00

於：八王子労政会館大ホール（明神町 3-5-1 JR 八王子駅北口歩 10分/京王八王子駅歩 7分）

第一部：「どぶ川学級」（1972年独立プロ製作）主演の山本亘氏を招いて映画の紹介や映画撮影時のお話などをうかがった後に上映。第二部：「フリートーク：教育の今と未来」（16:00～17:00）『日の丸・君が代』不当処分撤回を求める被処分者の会」「同 被解雇者の会」や教育現場からの発言などもお願いしています。日本の教育を市民の手に取り戻し、時代を作る若者を育てていくために何をすればいいのか、参加者の皆さんと一緒に考えていく。

＜第二回企画 「人間の壁」＞ 11月25日（土）15:00～18:00 開場 14:00

於：一橋大学国立キャンパス東キャンパス 1202 教室

第一部：「人間の壁」（1959年独立プロ製作 山本薩夫監督 香川京子・宇野重吉）上映

第二部：「フリートーク：教育の今と未来」（17:40～18:30）（第一回企画第二部に同じ）

参加費：第一回、第二回ともそれぞれ前売り券 800円 当日券 1000円

◇責任者：増田正人 < [mamasuda@mt.tama.hosei.ac.jp](mailto:mamasuda@mt.tama.hosei.ac.jp) >

## 【2】日中友好と歴史認識のための展示：12月2日～3日 於 16 総学会場

中国東北地方遼寧省にある「撫順」において、ここで起きた対極な、しかし密接に繋がる2つの出来事を紹介。それは侵略戦争の加害事実と証明、そして人類が争いの連鎖を断つための実践的な体験の記録である。1つは、侵略戦争による被害の事実＝平頂山事件（1932年9月16日日本軍は平頂山地区の住民3000人あまりを虐殺）。生存者3人が1996年に、日本政府に賠償と謝罪を要求して東京地裁に提訴。東京地裁・高裁は事実認定しつつも戦前の政府は損害賠償義務を負わないという国家無答責の法理を採用、原告らの請求を退ける。そして2006年5月最高裁は上告棄却。しかし、平頂山事件は動かすことのできない歴史的事実として最高裁で確定。

もう1つは、侵略戦争に参加し直接手を下した加害の証明と憎しみの連鎖を断つ人間の可能性を証明する事実＝撫順戦犯管理所。敗戦後、5年間のシベリア抑留を経た旧日本軍の将兵約1000人が当時のソ連からBC級戦犯として中国に引き渡され、撫順・太原戦犯管理所に収容。その人道主義的な教育方法によって、民族・人権の平等認識の確立、皇国主義思想からの脱却を成し遂げる。彼らは帰国後、戦争の実態を訴えつつ、日中友好・平和の活動を行っていく。ラストエンペラー溥儀も収容されていた施設としても有名。

展示・映像を中心に、この「撫順」を、過去と現在そして未来を結ぶ大きな一つのテーマとして提起していきたい。

◇責任者 長沼 仁（東京支部） < [jin@crown-ts.jp](mailto:jin@crown-ts.jp) >

**【3】核兵器廃絶・核戦争阻止・被爆者援護・連帯のための展示**：12月2日～3日於会場  
核兵器は人類の生存を脅かし、その廃絶は安全な世界のための大前提であり、緊急課題となっています。反核平和の力を結集し、逆流を乗り越えて、すべての国の政府が国連総会で核兵器全面禁止の決議をおこなうように働きかけることが大切でしょう。

原爆症認定集団訴訟では、今年5月の大阪地裁での全員勝利に続いて、8月の広島地裁でも全面勝利判決が勝ち取られました。「判決は世界中に核兵器の非人間性を訴え、その廃絶を求めるメッセージ」(佐々木猛也弁護士)となりました。日本政府は被爆者に対して、「国をあげての戦争による『一般犠牲』として受認しなければならない」との姿勢をとりつづけ、被爆者への国家補償を拒否していますが、政府はこの判決を受け入れ、認定行政を抜本的に改めるべきです。

61年前のヒロシマ・ナガサキでは、人間が「人間として死ぬことも、人間らしく生きることも」許されませんでした。いま、アメリカの世界戦略が元凶となって、世界の各地で戦争が引き起こされ、同様の事が強制されています。核戦争へと突き進み、ヒロシマ・ナガサキの再現をもたらす危険性も看過できない状況において、戦争そのものを許さない大きな運動をつくりだすことが急務となっています。

ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下と被爆の実相を伝える資料を主にして、被爆体験、空爆による無差別殺戮、そして戦争を見つめ、核兵器廃絶と平和で安全な社会への取り組みをあらためて考える機会を得たいと思います。

◇責任者 松下和輝(東京支部) < [makazuki@kc4.so-net.ne.jp](mailto:makazuki@kc4.so-net.ne.jp) >

**【4】留学生と語り合おう**： 12月3日 13:00～16:00

以下の内容で報告と講演と全体討論を行う。

1. 日本の留学生政策の現在。2. 留学生の生活環境、とくに大学生活における環境。奨学金問題。3. 学習、研究環境の実態。留学生に対する指導。4. 留学生ネットワーク。5. 留学生の歴史。6. 企業での留学生受け入れの状況。

大学当局の留学生に対する支援を担当者から報告してもらう。公的私的奨学金に対してもさまざまな問題が起きている。留学生自身からの報告が貴重な問題提起になると思われる。指導に関する問題を指導者自身からも提起してもらう。日本に留学された方々の経験談がいろいろ出版されているが、一般に周知されていないようなので、この期に紹介したい。企業ではどのようなことが行われているのか、興味をもてるのではないか。参加対象者は現在の留学生、留学経験者、大学担当者、指導者、外国人教師、企業関係者など。

◇責任者 西岡啓二(JSA 国際部) < [kei-nis@jcom.home.ne.jp](mailto:kei-nis@jcom.home.ne.jp) >

**【5】後夜祭：平和のためのコンサートー平和と安らぎと心豊かな未来の創造を求めて**

3日間にわたって「諸科学・技術の到達点と国民生活」を、さまざまな方向から論議しあった後は、日本科学者会議会員と市民と、ともに連帯を確認しあいたいと考えました。そこで、会員関係者、地元国立市民、そしてプロの音楽家たちのご協力を得て「第16回総合学術研究集会・後夜祭」を企画しました。どうぞ多数のご参加をお待ちしています。

◇後夜祭実行委員会代表 荒井成彦(東京支部 TEL/FAX:042-301-0847)

12月3日開場18:30 開演19:30 於:いづみホール(JR西国分寺駅南口歩1分) 参加費1000円

プログラム概要

第Ⅰ部 ①合唱(杉並合唱団アンサンブル) ②合唱(コール・エルフォン、涙そうそう ほか) ③室内楽(水林彪ほか・一橋大学、バッハ17のカラー集より いざ来ませ、異邦人の救い主 ほか)

第Ⅱ部 ④チェロカルテット(桐朋学園大学音楽部 中実穂、新倉瞳、藤井泉、堀内詩織:La vi Ilega、演奏会用ポロネーズほか) ⑤メゾソプラノ独唱(陳曦:カルメンよりハバネラ、カタロニア民謡鳥の歌 ほか)

か) ⑥ピアノ演奏(鈴木たか子:足立元彦のMIN-YOよりJONKARA ほか) ⑦チェロ演奏(奈切敏郎:サンサーンスの白鳥、ドボルザークの母の教えてくれた歌 ほか) ⑧フィナーレ(会場とともに)

## 8. 「お国自慢セッション」募集：

開催日直前まで受け付け

講演・報告・歓談・ポスターセッション・その他の展示のためのフロアーを準備し、開催日直前まで受け付けます。申込用紙(16総学ホームページに pdf あり)にもとづき申込んでください。「お国自慢セッション」は各支部のさまざまな「交流の場」です。各支部の創立、伝統、現在の活動、各地域の特色などの紹介を歓迎します。特産物、銘菓、銘酒の持ち込み・紹介大歓迎！但し試飲・試食は懇親会で！

○東京支部:支部活動の紹介-「支部つうしん」、「個人会員ニュース」、分会機関誌などの紹介。組織強化拡大、分会活動活性化、個人会員・院生・留学生の活動、その他。

○愛知支部:「東海地方の新しい温泉・大深度非火山性温泉を楽しむ」(講演者宮崎哲郎(名古屋大学名誉教授))

○北海道支部:支部創立40周年を迎えた北海道支部のこれまでの活動と現在

今年支部創立40周年である。初期の頃は、原子力発電問題や開発・公害問題を中心にとり組み、最近では、石狩川治水事業の一環として提案された千歳川放水路計画問題について問題点を指摘し、対策を提案してきた。これらの伝統を踏まえて、創立40周年事業として、記念シンポ(エネルギー・環境問題)を開催。現在「シリーズ講座」と「記念出版」を準備中。これらについて紹介する。ポスター及び書籍・パンフ ◇責任者 江見清次郎 FAX:011-706-7800

○鹿児島支部:火山の島を巡ろう！

三宅島の復興には、観光客が沢山訪問することが何よりです。高濃度地域など設定され、火山ガスの警戒体制の続く現在、まず期待されるのは科学者・研究者・理科教師・火山の島の自然の愛好者が訪れることです。火山の島それぞれのユニークな自然は、伊豆・小笠原諸島や薩南諸島にも広がっています。人間と自然との関わりを深く考えるにも火山の島を巡ることをお勧めします。

展示物:三宅島など伊豆・小笠原諸島と薩南諸島の火山島のポスターとパノラマ衛星画像、案内パンフ・書籍販売・(特産品?)など。◇責任者 木下紀正 < [kisei@rdc.kagoshima-u.ac.jp](mailto:kisei@rdc.kagoshima-u.ac.jp) >

## 9. 16総学記念囲碁大会：

12月3日 17:00(予定)～

閉会集会終了後、記念囲碁大会を開催します。場所はJR立川駅北口近くの「昭和ホテル」(和室あり)で、一橋大学からは電車もしくはタクシーで移動します。開始時刻は午後5時(予定)。同じホテルで夕食会を予定しています。そのまま昭和ホテルに宿泊できますので、その気になれば朝まで楽しめます。囲碁大会は参加者の申告段級位に基づいてハンディ戦で実施します。参加費として1000円～2000円程度(参加者数によって変動あり)、その他夕食会費(3000円程度～)と宿泊費(宿泊される方)が必要になります。参加を希望される方は、実行責任者の小嶋(Eメールか郵送)まで、10月下旬を目途にご連絡ください。詳細につきましては別途ご案内いたします。

◇実行責任者 小嶋茂稔 < [kakoji@da2.so-net.ne.jp](mailto:kakoji@da2.so-net.ne.jp) >

〒184-8501 小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学歴史学研究室 小嶋茂稔宛て

## 10. 16総学プレ企画：

3月より9月末まで8つのプレ企画を行ってきました(ホームページ参照)。

【1】シンポジウム「現代日本のナショナリズムと日本社会」:10月8日 14:00～16:30 文京シビックセンター3F会議室B 講師:吉田傑俊氏(法制大学)テーマ:現代日本のナショナリズムをめぐって—“安倍新政権”の背景を考える—主催:JSA東京支部

## 11. お知らせ

### (1) 女性交流会のお知らせ： 12月1日 全体集会・特別講演終了後

16 総学初日、総学プログラム終了後に女性参加者の交流会を予定しています。女性交流会は、最近の総学では毎回開かれ、全国の女性研究者・技術者の方々が親交を深める、有意義で楽しい場となっています。会場付近(御茶ノ水)で、会費 3000 円から 4000 円程度(院生・学生割引あり)を考えています。参加を希望される方は 10 月 31 日までに、「16 総学女性交流会参加申込」としてお名前、所属支部、連絡先、院生・学生はその旨を明記のうえご連絡下さい(当日受付もいたしますが、準備の都合上ご協力をお願いします)。詳細が決まり次第、折り返しご連絡します。パートナー同伴など男性の参加も歓迎です。

連絡先:石渡真理子 < [i-mariko@jcom.home.ne.jp](mailto:i-mariko@jcom.home.ne.jp) > FAX:03-5930-2329(夜 8 時～朝 8 時不通)

### (2) 宿泊について：

都心のホテルは、各自で確保して下さい。一橋大学近辺の宿泊は、立川・国分寺・武蔵境駅から 0～5 分のホテルを紹介します。電話、インターネットでご予約下さい。値段はシングル料金。「JSA 会員価格」は、予約時に JSA 会員であることを伝えてください。国立駅→立川駅は一駅 4 分、国立駅→国分寺駅は 5 分、国立駅→武蔵境駅は 12 分です。ホテルは他にも立川、八王子に沢山あります。

立川	立川グランドホテル (042-525-1121, 12/1 ¥9200, 12/2 ¥9600) , 立川リージェントホテル (042-522-1133, JSA 会員価格¥7500, ネット無料) , 立川ワシントンホテル (042-548-4111, 12/1 ¥8500, 12/2 ¥9450) , 昭和ホテル (042-524-2468, ¥7500)
国分寺	ホテルメッツ国分寺 (042-328-6111, ¥9000) , ビジネスホテルダイワ (042-324-5221, ¥7875) , ビジネス千成ホテル (042-325-5588, ¥6500)
武蔵境	シティテル武蔵境 (0422-33-5111, ¥7400) , ホテツメッツ武蔵境 (0422-32-5111)

\*\*\*\*\*

#### < 日本科学者会議第16回総合学術研究集会実行委員会 >

実行委員長：長田好弘（東京支部代表幹事），事務局長：米田 貢（東京支部事務局長）

事務局次長：小嶋茂稔（東京支部常任幹事），中野貞彦（東京支部）

庶務担当：山川賢次（東京支部常任幹事）

委員：一井 昭（東京支部代表幹事），伊藤達夫（全国研究企画部長），五十子満大（全国事務局長），岩佐 茂（東京支部幹事），小河 勉（東京支部常任幹事），河上 茂（東京支部幹事），丹生淳郷（埼玉支部事務局長），野口邦和（東京支部），増田正人（東京支部常任幹事），俣野景彦（東京支部常任幹事），松井安俊（全国財政担当），松下和輝（東京支部），山田 朗（東京支部）

#### ○16 総学のホームページ

<http://www.jsa.gr.jp/16sougaku/16sougaku.html>

#### ○日本科学者会議第16回総合学術研究集会実行委員会

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階

電話 (03) 3812-1472 FAX (03) 3813-2363 ; E-mail : 16sougaku@jsa.gr.jp

#### ○日本科学者会議東京支部

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階

電話・FAX 兼用 (03) 3811-8281

## JSA16総学・分科会開催時間枠

\*分科会によって開始・終了時間が異なります。

2006年 東京 一橋大学

番号	分科会名称	12月2日(土)午前	12月2日(土)午後	12月3日(日)午前	12月3日(日)午後	ページ
1	憲法九条の過去・現在・未来			9:30~12:30		4
2	憲法・教育基本法と教育実践		13:30~18:00			4
3	日米安保をなくしてアジアの平和を展望する	9:30~12:30	13:30~18:00			5
4	歴史教科書問題と今日のアジア認識・歴史認識	9:30~12:30				5
5	護憲派のための軍事入門・研究			9:30~12:00	13:00~14:40	6
6	原子力空母の横須賀母港化に関連する諸問題			9:30~12:30		6
7	気候変動にたむかひかう科学と政策			9:00~12:30		6
8	世界と日本のエネルギー問題	9:30~12:30	13:30~16:00			6
9	改憲論と環境権	9:30~12:30				7
10	廃棄物・土壌汚染			9:30~12:30		7
11	災害から暮らしを守るには	9:30~12:10	13:30~18:00			7
12	公共事業のあり方を考える	13:30~18:00				8
13	グローバルゼーションとアメリカ経済・社会の今	9:30~12:30				8
14	地域中小企業の特続的発展の課題		13:30~17:30			8
15	食と農の政策科学	9:30~12:30	13:30~18:00			9
16	検証「IT新改革戦略」―社会進歩と人々の幸福感に寄与できるか			9:30~12:20	13:20~15:00	9
17	検証「知的財産立国」		13:30~18:00			10
18	第3期科学技術基本計画をめぐって	9:30~12:30				10
19	21世紀の科学・技術は如何に在るべきか	13:30~18:00				10
20	21世紀の大学像と私立大学の現状と改革	9:30~12:30				11
21	大学・研究機関の法人化と労組を含む各種団体の役割		13:00~18:00			11
22	研究者・技術者の権利問題分科会		13:30~18:00			11
23	民間企業技術者・研究者の現状			9:30~12:30		12
24	女性研究者の今を考える―真の男女共同参画をめざして―	9:30~13:00				12
25	延命治療について考える―人工呼吸器の取り外しは許されるか				13:00~15:00	13
26	薬とビズネス―薬が病気を治す！？			10:00~12:30		13
27	現代日本社会の病理	9:30~12:30				13
28	外来生物と生物多様性―グローバルゼーションがもたらす新しい問題			9:30~12:30		13
29	格差社会と現代日本の貧困を考える		13:30~16:30			14
30	石原都政の8年間を検証する―政治、行政手法を中心に	13:30~16:30				14
31	重大事故を防ぐ			9:30~12:30		14
32	小泉改革、その地域における現実と科学者の役割	9:30~12:30	13:30~18:00			14
33	自治体の企業誘致・産業政策分科会			9:30~12:30		15
	研究者の権利・地位宣言／倫理綱領(案)についての総合討論会				13:30~15:00	15
	留学生と語り合おう				13:00~16:00	17
	閉会総会				15:30~16:00	